

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 3 区分
【発行日】令和 7 年 1 月 31 日(2025.1.31)

【公開番号】特開 2023-112805(P2023-112805A)
【公開日】令和 5 年 8 月 15 日(2023.8.15)
【年通号数】公開公報(特許)2023-152
【出願番号】特願 2022-14748(P2022-14748)
【国際特許分類】

B 2 5 D 17/00(2006.01)

10

【F I】

B 2 5 D 17/00

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 1 月 23 日(2025.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

先端工具を打撃することで、前記先端工具を駆動軸に沿って直線状に駆動するように構成された打撃工具であって、

前記駆動軸を規定するハウジングと、

前記打撃工具の動作を制御するように構成されたコントローラとを備え、

前記ハウジングは、

第 1 ハウジングと、

前記第 1 ハウジングに連結され、前記コントローラを少なくとも収容する第 2 ハウジングとを含み、

30

前記コントローラから延びる少なくとも 1 つの電線と、前記第 1 ハウジングに配置された少なくとも 1 つの部品とが、前記ハウジングの外側で互いに接続されていることを特徴とする打撃工具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の打撃工具であって、

前記第 2 ハウジングは、前記コントローラを収容する第 1 部分と、前記第 1 部分と連結された第 2 部分とを含み、前記第 1 部分のうち前記第 2 部分との接続端、又は、前記第 2 部分のうち前記第 1 部分との接続端には、配線用の少なくとも 1 つの凹部が形成されており、

前記少なくとも 1 つの凹部は、前記第 1 部分と前記第 2 部分とが連結された状態で、前記ハウジングの内部と外部とを連通させることを特徴とする打撃工具。

40

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の打撃工具であって、

バッテリーが取り外し可能に装着されるように構成された少なくとも 1 つのバッテリー装着部を更に備え、

前記少なくとも 1 つのバッテリー装着部は、前記第ハウジングの外側で前記ハウジングに支持され、前記バッテリーの装着に応じて前記バッテリーの端子に電氣的に接続可能な端子を備え、

前記少なくとも 1 つの電線は、前記端子に直接接続された少なくとも 1 つの端子用電線を含むことを特徴とする打撃工具。

50

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 つに記載の打撃工具であって、
前記第 1 ハウジングに収容されたモータを更に備え、
前記第 2 ハウジングは、前記第 1 ハウジングの少なくとも一部を覆うように構成され、
前記第 1 ハウジングに対し、前記駆動軸と平行な第 1 方向に移動可能に、少なくとも 1 つ
の弾性部材を介して前記第 1 ハウジングに連結されていることを特徴とする打撃工具。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の打撃工具であって、
前記第 2 ハウジングは、内部壁を有し、
前記第 2 ハウジング内には、前記内部壁によって前記第 1 ハウジングから隔てられた通 10
路が規定されており、
前記少なくとも 1 つの電線は、前記モータに接続されるモータ用電線を含み、
前記モータから延びる電線は、前記通路内を通過して、前記第 2 ハウジングの外側に延び
出て、前記モータ用電線と接続されていることを特徴とする打撃工具。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 の何れか 1 つに記載の打撃工具であって、
把持部を有し、前記ハウジングの外側で前記ハウジングに連結固定された少なくとも 1
つのハンドルを更に備え、
前記少なくとも 1 つのハンドルは、前記ハウジングの外側に配置された前記少なくとも
1 つの電線を少なくとも部分的に覆うことを特徴とする打撃工具。 20

【請求項 7】

請求項 6 に記載の打撃工具であって、
前記少なくとも 1 つのハンドルは、前記駆動軸に直交する第 2 方向において、前記ハウ
ジングの両側に配置された 2 つのハンドルを含み、
前記 2 つのハンドルの夫々の前記把持部は、前記第 2 方向に延在する軸に沿って延びる
ことを特徴とする打撃工具。

【請求項 8】

請求項 3、あるいは、請求項 3 に直接的又は間接的に従属する請求項 4 ～ 7 の何れか 1
つに記載の打撃工具であって、
前記少なくとも 1 つのバッテリー装着部は、前記駆動軸に直交する第 2 方向において前記 30
ハウジングの両側に夫々配置された 2 つのバッテリー装着部を含むことを特徴とする打撃工
具。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の打撃工具であって、
前記 2 つのバッテリー装着部の各々は、前記ハウジングから外側へ突出する壁部を含み、
前記端子は、前記壁部に支持されており、
前記少なくとも 1 つの端子用電線は、前記 2 つのバッテリー装着部の夫々の前記壁部に形
成された開口を通過して前記端子に接続された 2 つの端子用電線を含むことを特徴とする打
撃工具。

【請求項 10】 40

請求項 1 ～ 9 の何れか 1 つに記載の打撃工具であって、
前記第 2 ハウジングは、
第 2 ハウジング本体と、
前記第 2 ハウジング本体に連結固定され、前記コントローラを収容するケースとを含
み、
前記ケースは、前記コントローラの仮留め機能を有することを特徴とする打撃工具。